

基礎学力コンテスト 2019夏 小4理科 出題範囲





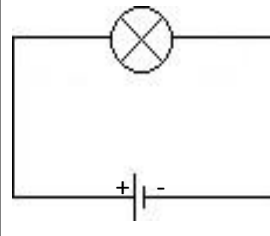
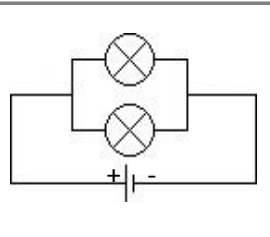




〔テスト範囲になる内容〕 ★気になる言葉やわかりにくいものは、学校の教科書でも調べてみましょう。

春・夏の生き物…あたたかい季節（きせつ）の植物や動物のようす

電池のはたらき…電池や豆電球のつなぎ方

実験器具…試験管・ビーカー・アルコールランプ

<p>タンポポ</p>  <p>黄色い花がさき、しばらくするとわた毛によって種をとばす。日当たりの良いところによく生えている。写真はわた毛。</p>	<p>アサガオ</p>  <p>夜は花がとじているが、早朝に花を開くのでこの名前ではばれるようになった。暗くなってから10時間後に花が開く。</p>	<p>ツルレイシ</p>  <p>ツルで体をささえる、ウリ科の植物。花は黄色。夏にグリーンカーテンなどに使われる。ゴーヤーやニガウリともよばれる。</p>	<p>アジサイ</p>  <p>つゆの時期にさく、低い木の花。緑色の大きな葉をつける。花(がく)は、土のせいしつによって、赤や青などの色がつく。</p>	<p>ヒマワリ</p>  <p>夏の花。タンポポと同じキクのなかま。1つの大きな花に見えるが、小さい花がたくさんあつまっている。</p>
<p>アゲハ</p>  <p>春から秋までよく見られる。ミカンやカラタチの木に丸型のたまごをうむ。よう虫はその木の葉を食べて成長する。</p>	<p>モンシロチョウ</p>  <p>春から秋までよく見られる。キャベツやダイコンの葉に細長いたまごをうむ。よう虫はアオムシとよばれる。</p>	<p>ナナホシテントウ</p>  <p>赤い羽に黒い点が7つついている。アブラムシをたべる肉食のこん虫。</p>	<p>カエル</p>  <p>両生類(りょうせいりい)のなかま。田んぼや川のまわりに生そくしている。子はオタマジャクシとよばれる。</p>	<p>回路</p>  <p>電りゅうがながれる道すじ。回路を図で表したものを回路図といい、 ⊗ は豆電球。 + - は電池を表す。</p>
<p>直列つなぎ</p>  <p>豆電球や電池をつなぐときに、電りゅうの流れる道が1本になるようなつなぎ方。</p>	<p>へい列つなぎ</p>  <p>豆電球や電池をつなぐときに、電りゅうの流れ方がいくつかに分かれるようなつなぎ方。</p>	<p>試験管 (しけんかん)</p>  <p>科学実験(かがくじっけん)のときに、薬品(やくひん)を入れて使う。液体をまぜるときには、口の方をもって底を回すようにふる。</p>	<p>ビーカー</p>  <p>科学実験(かがくじっけん)のときに、薬品(やくひん)を入れるのに使う。目盛りは真横から見る。</p>	<p>アルコールランプ</p>  <p>科学実験(かがくじっけん)のときに、火をつけて使う道具。試験管やビーカーに入れた薬品をあたためるのに使う。</p>